

主要行等の令和7年9月期決算の概要

1. 損益の状況（グループ連結ベース）

- 令和7年9月期は、国内貸出金の残高増加と利回り上昇を主因とする国内資金利益の増加や、資産運用や融資関連の手数料等の役務取引等利益の増加等により、当期純利益は前年同期比16.1%の増益（33,135億円）。

（単位：億円）

	R5年9月期	R6年9月期	R7年9月期	前年同期比
業務粗利益	65,030	74,166	79,138	4,972
資金利益	28,449	33,777	37,184	3,407
役務取引等利益	21,350	23,676	26,162	2,486
その他業務利益	9,367	3,395	7,017	3,621
うち債券等関係損益*	▲ 501	801	62	▲ 739
経費	▲ 38,307	▲ 42,533	▲ 44,657	▲ 2,124
業務純益	27,360	32,440	35,756	3,316
コア業務純益*	18,169	20,510	24,175	3,665
コア業務純益*（除く投資信託解約損益）	17,002	18,814	23,540	4,726
与信関係費用**	▲ 3,359	▲ 2,967	▲ 1,581	1,386
株式等関係損益	1,505	8,303	5,973	▲ 2,330
親会社株主に帰属する当期純利益	20,342	28,528	33,135	4,607

*債券等関係損益、コア業務純益については銀行単体ベース。**与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

(参考)	R5年9月末	R6年9月末	R7年9月末
貸出金(末残)***	361.1兆円	370.9兆円	385.2兆円

***貸出金は銀行単体ベースの銀行勘定計。

2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

- 不良債権残高と不良債権比率は、令和7年3月末に比べ低下。

	R6年9月末	R7年3月末	R7年9月末
不良債権残高	3.5兆円	2.9兆円	2.5兆円
不良債権比率	0.83%	0.67%	0.58%

3. 自己資本比率の状況（グループ連結ベース）

- 国際統一基準行の総自己資本比率、Tier1比率、普通株式等Tier1比率は、令和7年3月末に比べやや上昇。

- 国内基準行の自己資本比率は、令和7年3月末に比べやや低下。

（国際統一基準行：4グループ）

（国内基準行：3グループ）

	R7年3月末	R7年9月末
総自己資本比率	17.07%	17.49%
Tier1比率	15.36%	15.83%
普通株式等Tier1比率	13.19%	13.36%

	R7年3月末	R7年9月末
自己資本比率	11.46%	11.29%

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）グループ連結ベースは、みずほFG、三菱UFJFG、三井住友FG、三井住友トラストG（以上、国際統一基準行）、りそなHD、SBI新生銀行、あおぞら銀行（以上、国内基準行）を対象とする。

（注3）銀行単体ベースは、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、三菱UFJ信託銀行、みずほ信託銀行、三井住友信託銀行、SBI新生銀行、あおぞら銀行を対象とする。

（注4）各グループ公表資料等より、金融庁作成（公表数値の定義はグループにより異なる場合がある）。

（注5）過去の計数については、一部グループの業績修正等により、過去の当庁公表数値と異なる場合がある。